

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	電子情報学特別演習第二		
英文授業科目名	Studies		
開講年度	2004年度	開講年次	
開講学期	前学期・後学期	開講コース・課程	博士後期課程
授業の方法		単位数	4
科目区分	電気通信学研究科-電子情報学専攻-必修科目		
開講学科・専攻	電子情報学専攻		
担当教官名	各指導教員		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
	http://www.ice.uec.ac.jp/staffj.html

<p>【主題および達成目標】</p> <p>進めている研究テーマおよびその周辺に関連した具体的課題を設定し、課題解決のための調査・立案・遂行・評価のプロセスを実体験し、幅広い知識の獲得と総合技術力の涵養を計る。この経験を昇華し、研究を推進するための方法論を会得するようにし、情報通信工学の各専門分野において自立した研究者となるための訓練を行う。</p> <p>調査に関しては国内外の最新の文献にアクセスし、さらに学内の関連研究室のみならず学会・研究会等に参加し精度を高める能力を養う。</p> <p>実施計画立案に当たっては指導教官の一般的指示に従い、研究資源（研究室メンバーの協力、現有および借用できる施設・設備、資金）を勘案し有効な計画を策定できるようにする。</p> <p>課題解決のための研究遂行においては情報通信工学の最新の手法に基づき合理的にリーダーシップをとって実施し、適切な評価手段によりその達成度を評価する能力を涵養する。</p> <p>実施された研究結果のレベルと、情報通信工学における位置付けを総合的・客観的に評価し、更なる問題点の抽出、今後の研究計画立案にフィードバックするという一連の過程を方法論として会得する。これにより異なった課題に直面しても合理的に解決していく能力を身に付ける。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p>

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【教科書等】

【参考書】 情報通信工学に関する国内外の学会誌、論文誌に掲載された研究論文、国際会議プロシーディング、国内外専門書などを適宜用いる。

【授業内容とその進め方】

【成績評価方法および評価基準】

自らが課題としたテーマに関する調査・立案・遂行・評価のプロセスを報告書を提出するとともに、得られた結果を発表・討論する。これらの総合過程を担当する教官群により評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

【学生へのメッセージ】

今までは先人が築いた情報通信工学に関する学問を学んで来たわけであるが、今後は皆さんが情報通信工学の分野に1ページを書き加える番である。このためには設定された具体的課題を、自ら具体的に解決してゆく過程を経験を積むことが必要である。